

第三表

	熱	蛋	脂	動蛋
下位幼 合	1449	45.6	19.6	13.4
保 幼 男	1304	29.3	11.6	8.1
保 幼 女	1285	42.1	17.3	18.4
上位幼 保	1351	33.5	17.1	14.2
保	1890	62.3	24.3	20.1
保	1671	68.0	22.2	22.1

をみますと、発育上 Group に於て近隣の環境が幼稚園児は工商地であり、保育園児は住農地であるという一項目に有意な差があった

一年保育児と

二年保育年長児との身体的差異について

千葉大学教育学部
附属幼稚園長

宮内

孝

ま え が き

の育児知識の程度、育児態度、住宅に關しては豊教陽あたり、子供の側としては、体の健康、食慾、偏食、栄養が夫々影響を及ぼすものと考察されます。

従来栄養は発育に対する最も重要な原因になつて居りますが、前述の例の如き場合を考え合す時、未だ大いに研究すべき余地が残されて居るようです。

(c) さて幼稚園児と保育園児の発育の差がどこに原因しているか

だけでした。発育上位 Group に於ける幼稚園児、保育園児の差は家庭環境及び第三表の如く栄養についてはほとんどみられません。これらの項目に含まれない別の原因が在るのだからと推定され、今後に研究を続けてまいりたいと思つています。発育下 Group に於て生活環境調査各項目に有意な差ありと認められたものは、保育園に此一幼稚園は①家の職業が商家が多い(保育園児は半技術的職業)②一人あたり畳数、③室数、④家族数夫々多く、⑤子供は健康⑥偏食有、の六項目であります。栄養については表の如く女子には大差ありませんが男子は幼稚園児の方がいくらか多い様です。前述の発育に影響する因子と照し合せてこの場合幼稚園児の発育が劣る原因として「偏食あり」保育園児にては「住宅の狭さ」があげられます。これらのみの結果で両者間の原因の比較は無理でありませんがその原因の質的差異について何らかの示唆が与えられたと思ひます。

一年保育児も二年保育児も年令は同じであるが、その成熟や発達異なることは日常の観察からも知り得る。従つて、その指導計画や

指導法はおのずから異ってくることは当然であると一応考えられる。けれども、具体的に、適切な指導計画をたて、よりよく指導するためには、こどもの実態を実証的により正確に知る必要がある。このようなことから、私の幼稚園ではこどもの実態について多少の調査はしてきたが、より計画的に、より系統的に長期に亘って調査をすることにした。

ここに、市原富佐教諭が中心になって行った、一年保育児と二年保育年長児との身体的差異に関する調査の一部を発表することにした。このような調査は引続き行っていく計画であるし、また、全国的に広く行われる必要もあるので、諸先生方の御指導と御協力を得れば幸いである。

一、目的

本幼稚園のカリキュラム作成の基礎資料を得るとともに、具体的な効果的な指導をする手がかりとする。

二、対象

千葉大学教育学部附属幼稚園々児。

三、調査の種類

- (1)、定例身体検査並に月別体重測定。
- (2)、体力測定。

四、調査の方法とその結果

- (1)、定例身体検査。

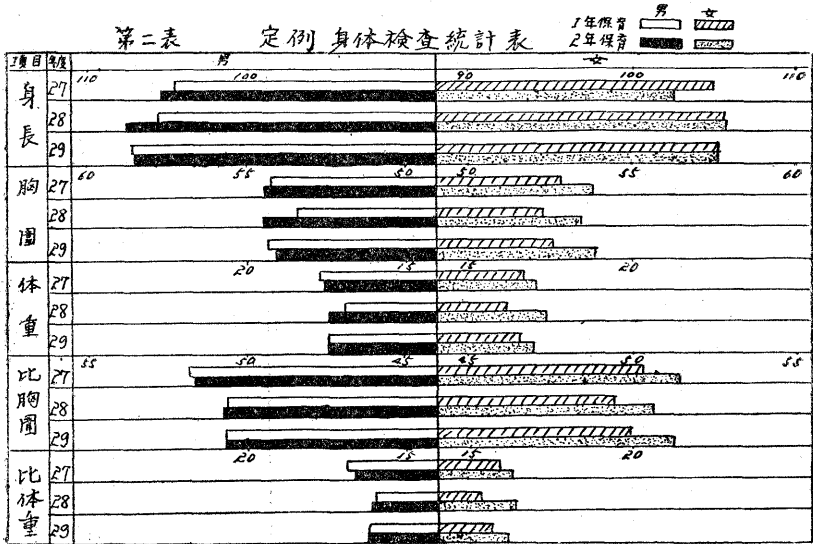
昭和二十七年頃から同二十九年までの比較表を作成。第一、二

表でわかるように、三ヶ年間を通じ身体は大体同じであるが胸囲と体重は二年保育児の方が多し。従って、比胸囲比、体重も大きい。このことは特に女児において著しい。

第一表 定例身体検査統計表 (昭和27~29年)

年度	項目		身長(cm)	体重(kg)	胸囲(cm)	比体重	比胸囲	人員
	教育年限							
27	1	男	104.8	17.7	54.3	16.9	51.8	19
		女	104.7	16.7	52.8	15.9	50.3	22
	2	男	105.4	17.5	54.4	16.6	51.6	14
		女	104.6	17.1	53.8	16.3	51.4	15
28	1	男	105.6	16.9	53.4	16.0	50.6	17
		女	105.7	16.2	52.3	15.4	49.4	22
	2	男	107.5	17.3	54.5	16.1	50.7	17
		女	105.8	17.4	53.5	16.4	50.6	20
29	1	男	107.2	17.4	54.4	16.2	50.7	24
		女	105.4	16.6	52.6	15.7	49.9	20
	2	男	107.1	17.4	54.1	16.2	50.6	17
		女	105.3	17.0	53.9	16.2	51.2	18

第二表 定例身体検査統計表



(2)、月別体重測定。

昭和二十七年、八年度二ヶ年間の毎月の体重比較表を作成。第三表に示された通り、二ヶ年とも男女及びその平均とも、すべて二年保育児は一年保育児に比して体重の増減が著しくない。

(3)、体力測定。

基礎的な能力である跳・投・走・懸垂の四種目と、片脚跳及び竹登りの幾分技能を加味したものの二種目、計六種目についてしらべた。

方法は児童母性研究会の方法を基準とした。

(1)、疾走。二五米の直線コースを走る時間。

(2)、立巾跳。両脚をそろえて前方にとぶ距離(三回のうち最長のものをとる)。

(3)、投てき。重さ一五〇瓦の小豆入りのおてだまを投げた距離(三回)。

(4)、懸垂。鉄棒に肘を伸ばして懸垂した時間。

(5)、片足跳。直径四米の円周を片足で外廻りをした回数、左右一回ずつ。

(6)、竹登り。高さ三米の竹を地上垂直に立てそれをのぼる。全

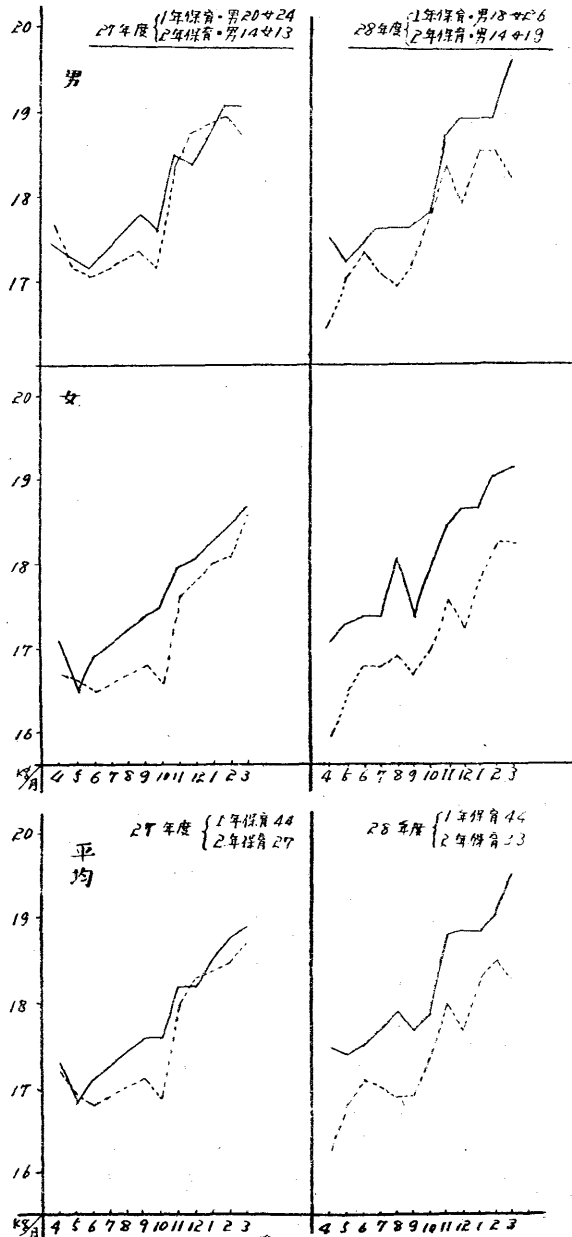
々のぼれないもの(不)、上までのぼったもの(成)、その中間のもの(中)の三種に区別した。

結果は第四表の通りである。これによって明らか通り、二年保育児は一年保育児に比して懸垂をのぞいて他のすべての点において

すぐれている。なお、一年保育児は懸垂においてすぐれているにもか

かわらず、竹登りにおいて甚しくおとっていることに注意すべき

表三 月別体重測定表
1年保育----- 2年保育——



である。
第五表は昭和二十八年十二月に調査したものである。対象のこどもが異なるので比較にはならないが参考のために掲げておく。

五、調査の評価と課題(略)

附記
千葉大学附属幼稚園は千葉県印旛郡の千代田町(人口、一二三二

三人)と旭村(人口、六四八〇人)の境に位置している。従って、園児は幼稚園所在地を中心として両町村から来ており、通園圏は幼児が徒歩で三十分以内に大体限定されている。選抜入園ではあるが第七表に示された通り、二年保育よりは一年保育の方が競争率がかい。平均年令は第八表の通りである。

幼稚園は二年保育(年少、年長)と一年保育の三組編成(定員一〇五名)であり、それぞれはっきりと組をわかち、異った指導計画

第四表 体力測定表

(25年度4月調査)

種別	男				女				平均			
	教育年限 二年保育17 (5才5月)		一年保育25 (5才6月)		二年保育18 (5才4月)		一年保育35 (5才5月)		二年保育35 (5才5月)		一年保育47 (5才6月)	
疾走(秒)	6.49		7.28		7.33		7.89		6.92		7.57	
立巾跳(cm)	122.76		113.52		109.27		107.00		115.82		110.26	
片脚跳(回)	右 1.55	左 2.1	右 1.3	左 1.66	右 1.54	左 2.0	右 1.96	左 1.82	右 1.57	左 2.07	右 1.61	左 1.73
投擲(m)	7.91		6.76		4.01		4.43		5.93		5.65	
竹登り(%)	不中成 11.8	23.5	64.7	不中成 2.0	16.0	52.0	不中成 50.0	27.8	22.2	不中成 72.8	22.7	4.5
懸垂(秒)	58.57		71.99		46.40		86.40		52.31		78.74	

第五表

(28年度12月調査)

種別	男				女				平均			
	教育年限 二年保育16 (6才2月)		一年保育18 (6才0月)		二年保育19 (6才2月)		一年保育26 (6才0月)		二年保育35 (6才2月)		一年保育44 (6才0月)	
疾走(秒)	6.62		6.44		6.80		6.70		6.72		6.63	
立巾跳(cm)	125.96		120.38		115.00		119.00		120.07		119.80	
片脚跳(回)	右 2.73	左 2.87	右 2.12	左 2.60	右 3.39	左 2.34	右 2.30	左 3.73	右 3.09	左 2.58	右 2.12	左 3.16
投擲(m)	8.70		10.23		5.48		5.25		6.95		7.29	
竹登り(%)	不中成 12.4	31.3	56.3	不中成 22.2	5.6	72.2	不中成 5.3	52.6	42.1	不中成 23.2	23.0	53.8
懸垂(秒)	90.3		102.0		92.7		122.3		91.6		114.0	

第六表(イ) 体力測定表

児童母性研究会

種別	満5才			満6才		
	男	女	平均	男	女	平均
疾走(秒)	6.59	7.20	6.88	6.21	6.85	6.41
立巾跳(cm)	105.1	97.7	101.6	115.7	105.6	110.7
投擲(m)	7.21	4.40	5.84	9.66	5.5	7.52
懸垂(秒)	80.6	73.6	77.3	119.2	120.48	119.94

第六表(口)

東京学芸大学竹早附属幼稚園

	昭和 27 年 5 月 満5才			昭和 28 年 5 月 満6才		
	男	女	平均	男	女	平均
疾 走(秒)	6.38	6.84	6.61	6.92	6.95	6.93
立 巾 跳(cm)	107.43	99.5	103.46	72.12	93.33	82.72
投 擲(m)	7.85	3.78	5.81	6.75	4.33	5.04
懸 垂(秒)	52.56	60.41	56.48	37.13	43.34	40.23

第七表 入園合格率

年 度	項目 保育年限	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率 %
	2	39	35	90
28	1	73	47	64
	2	57	43	72
29	1	60	48	80
	2	48	38	79

第八表 平均年令表

(4月1日現在)

年 度	一 年 保 育	二 年 保 育
27	5 才 4 ヶ 月	5 才 4 ヶ 月
28	5 才 4 ヶ 月	5 才 6 ヶ 月
29	5 才 5 ヶ 月	5 才 4 ヶ 月

のもとに保育して
おる。補欠募集など
による途中編入は
一切行わない。